

## 論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第1743号	氏名	横田賢一
論文審査担当者		主査教授	奥村寛
		副査教授	上谷雅孝
		副査教授	柴田義貞
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、放射線被曝による急性症状発現、とくに脱毛の有無とその後の発がんとの関係を、明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 長崎市被爆者健康手帳を保持する近距離被爆者のうち、急性症状の情報があり、被爆時年齢が50歳以下で、被曝線量の推定が可能な9,356人（男3,591人、女5,765人）を対象に、1970年から1997年末までに観察されたがん死亡について、放射線被曝、脱毛その他の要因との関連を、最新の統計手法を用いて多角的に解析しており、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 男性では女性と異なり、脱毛のあった者の方が脱毛のなかった者よりがん死亡率の高いことが示唆された。多変量解析ではその影響は有意ではなかったが、若年被爆者の発がんリスクは高齢化とともに有意に上昇することを明らかにしており、研究結果と考察は高く評価できる。</p>			
<p>以上のように本論文は若年被爆者の発がんが今後も増加することを明らかにしたもので、今後の被爆者に対する福祉に寄与するとともに放射線疫学へ貢献するところも大であり、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			